

宇部のコミュニティ・スクール

地域ぐるみで子どもの育ちや学びを支援する

山口県は、すべての小中学校がコミュニティ・スクールとなり、県立高校や特別支援学校もコミュニティ・スクールになろうとしています。そこで、山口県は、地域とともにある学校づくりが生み出した成果を基に、学校を核とした地域づくりを進めようとしています。

今後は、コミュニティ・スクールの充実とともに地域協育ネットの取組の推進が地域のネットワーク強化における大切なポイントになってくると考えられます。

【地域協育ネットとは】

幼児期から中学校卒業程度までの子どもたちの育ちや学びを、継続的に地域ぐるみで見守り支援していくため、概ね中学校区を一まとまりとして学校、家庭、地域が連携した取組を行うための山口県独自の仕組み。

◎「コミュニティ・スクール」の取組紹介

桃山中学校

第1回学校運営協議会が開かれました。桃山中学校区共通の教育目標である「誇りのもてる生徒の育成」～学び・心みがき・絆づくりを通して～や学校教育重点目標に係る取組が承認されました。委員の方は、子どもたちが主体的に地域貢献に取り組んでいることを喜ばれていました。この成果が、地域防災や地域環境美化への積極的な関わりにつながることを期待されていました。

協議会の前に、「自問清掃」の様子を見させていただきました。委員のみなさんは、子どもたちの学校と心を磨く様子に感心しておられました。



【学校を黙々と磨く姿に、自分たちへの誇りを感じました。】

【第1回宇部市コミュニティ・スクール推進協議会】

5月24日（木）に、平成30年度 第1回宇部市コミュニティ・スクール推進協議会が宇部市勤労青少年会館で行われました。

市内中学校区代表の小学校または中学校運営協議会長や市内小中学校の校長が出席され、会長に、小野小学校の学校運営協議会長 原田 正之 様 が選出されました。

所管説明に続いて、「コミュニティ・スクールのねらいと具体的な導入のあり方～効果的なシステムづくりを通して～」を演題とし、文部科学省CSマイスター 地域連携教育エキスパート 木本育夫 様 よりご講話をいただきました。

コミュニティ・スクールの必要性や効果、コミュニティ・スクールや地域連携教育を推進する上での在り方を具体的に指導していただき大変有意義な会となりました。



コミュニティ・スクールや地域協育ネットに関する情報をお寄せください。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課 Tel 0836-37-2780

E-mail : ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp